

JMRC 地区通信

JMRC各地区から名物イベント情報や規則改正、告知などのお知らせを発信する地域の伝言板ページです

JMRC 関東

今年もJMRC関東管内で 全日本ラリー3戦を開催

本年JMRC関東では、3つの全日本ラリー選手権が開催されます。

①第4戦6月10〜12日「がんばろう！福島MSCCラリー2016」は、福島県棚倉町・いわき市・鮫川村にて開催。今季初のグラベルラリーという重要な一戦です。10日はラリー走行観戦と篠塚建次郎氏のデモンストレーション走行、同乗走行等が楽しめるサミーステージinルネサンス（棚倉町）が、12日は雄大な牧草地を背景に疾走するラリー車が観戦できるサミーステージin鹿角平（鮫川村）があります。

公式HP：<http://www.nazdasportscarclub.jp/fukushima2016.html>

②第6戦8月26〜28日 群馬県嬬恋村 拠点の「モンテレー2016 in 嬬恋」は、



唯一、関東圏内で開催される全日本ラリーです。両日とも標高1400mのバルコール駐車場特設ステージでラリー走行を楽しめ、隣接の大前須坂SSも同時に観戦が可能です。また、バルコールつま恋には「家族連れで楽しめるラリーパーク」を設置します。公式HP：<http://www.rally-montreuil.com/>

③第8戦10月14〜16日「第44回MSCCラリーinハイランドマスターズ2016」は、岐阜県高山市で開催。選手権の中で最も長い歴史を誇る伝統の一戦です。15、16日も、ひだ舟山スノーリゾートアルコピア特設ステージが予定されています。駐車場を利用した特設ステージは、家族連れでも気軽に観戦することができる好評です。公式HP：<http://mcscc-rally.com/>

<http://www.jmrcg.com/>

JMRC 中部

7年ぶりの開催！ 池の平でダートトラ選手権

昨年6月をもって、山室山ダートウェイが閉鎖されたことで、中部地区におけるダートトライアル公認コースは、福井県のオートパーク今庄と石川県の門前モータースポーツ公園の2カ所となっていました。

そのため、愛知県東部や、静岡県からの参加者にとって時間も費用も負担が大きく、これを考慮して、近場の池の平ワンダートランドでのコース公認取得と開催への動きが進められました。

その結果、4月24日、7年ぶりに、池の平ワンダートランドでJAF中部ダートライアル選手権が開催されました。オーガナイザーも久しぶりの選手権戦開催で、奮闘いたしました。

JMRC中部ダートライアル東海シリーズも同時開催でしたが、4WDクラスのみ成り立って、5台のエントリーに留まりました。競技当日は、前日夜半に降った雨で、ウェット路面でのスタートとなりました。しかし、第2ヒートになると路面も乾き出し、東海シリーズ4WDクラスは、逆転で山本敦也選手の初勝利となりました。

選手権には、6クラス55台の参加者が集まりました。RWDクラスでは、86のAT車に乗る福西貴志を抑え、東北から移住してきた全日本ドライバークの清野タカシがSW20MR2のNAで優勝を果たしました。

PN/S1500クラスは、昨年のチャンピオン深谷文彦、全日本ドライ

バー馬場暴を抑え、石川司ヴィッツが念願の初勝利を挙げました。

N1クラスは、森好規が第1ヒートをリードしましたが、第2ヒートになると、シードドライバーの前田利幸がぶつぎりで優勝をさりました。

N2クラスは、昨年のチャンピオン村松俊和ランサーが危ない走り逃げ切り。長期海外出張帰りの三上勝義インプレッサがブランクを感じさせない走りで、3位に入賞しました。

S1クラスは、会場に来る途中、シカと衝突したという広上徹インテグラが優勝。S3クラスは、松原実、松原功治、堀江真徳を抑えて、米澤叔晃ランサーがスムーズな走りで、第1ヒート、第2ヒートともトップタイムで完全優勝を果たしました。



<http://www.jmrc-chubu.jp/>

JMRCとは?

JMRCは「JAF Motorsports Clubs Regional Conference」の略語で、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ、レースなどのモータースポーツを楽しむ参加者、主催者を応援するとともに、業界の発展を目指して活動を行っている組織です。北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州の8地区に分かれています。

JMRC 近畿

3年目の熟成!! F1T1.5チャレンジ

はじめに、4月に発生した熊本を中心とした大地震で被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。また、近隣のサーキット、オートボリスにも被害が出ているようで、1日も早い復興に期待をするばかりです。

さて、2月の終わりに開幕した今季の鈴鹿クラブマンレースは、第2戦、桜がまだつぼみのままの3月27日に、西コースで開催されました。エントリー台数も例年の平均値を維持、新カテゴリーのクラブマンスポーツ2のエン

トリーにおいては7台と増加傾向にあるのが嬉しい限りです。3年目を迎えるF1T1.5チャレンジも、毎戦のように、ますますレベルの高い攻防戦が繰り広げられています。見る側にとっても、とても見応えのあるカテゴリーのひとつだと言えます。

そして、今回はサーキットトライアルも併催されていたのですが、ここには15台の参加が集まり、テクニカルな鈴鹿西コースを自慢の愛車で走行されていました。



http://www.suzukacircuit.jp/clubman_s/

JMRC 中国

予測不能、今季のFGラリー 展開をどうぞお楽しみに♪

5月28日に開幕する中四国ラリー選手権は、全6戦のうち4戦が西日本グループラリーーツアー併催のため、他地区からの参加者も見込まれ混戦が予想されます。FG4マクリンはずいぶん塗り塗りを綺麗にし、渡部洋三は数戦を選び、若手急成長中の長江はエボ9に乗り換え主催を除く4戦に参戦。宮川はレンタルエボ9での参戦も含め秘策を練り、西は全戦参加でポイントをコツコツ重ねる狙いようです。ここに、やっと車が仕上がった山口、車だけ先

にデビューした松岡が乱入。FG3松原、古川、山岡は西日本GRITを中心とする一方、野村は全戦参加。車も体もリフレッシュした白形もチャンプを狙います。ピチピチ22歳川本も第1戦から田口盛一郎をコドラに参戦予定。FG2川村も西日本GRITを中心に、寺川は地区チャンプ奪還にヤル気満々、相方が戻ってきた片山は全戦参加。FG1安藤は変わらず、妹尾がフィットを完成させ参戦、なぜか車が壊れた池田は仕事が重ならない限り参戦予定!



「JMRC通信」のPDFを無料で公開しています!

JMRC各地域から情報をご提供いただいているJMRC通信、最新号のページが、プレイドライブ公式ホームページの専用ページで、PDFにて無料閲覧いただけるようになりました。

各地域ならではの地元情報、強豪選手、クラス分けや規定改編などの情報が満載の同ページを、日頃の活動のツールとしてもぜひご活用ください。

プレイドライブの発行日である毎月1日に更新します。下のバーに明記してあるURLからアクセスを!



<http://playdrive.jp/jmrc/>

<http://jmrc-chugoku.org>